

# 練馬区立リサイクルセンター ゆずりは vol.80

発行：環境・リサイクル情報誌 発行年月：令和8年(2026年)1月  
発行：練馬区立リサイクルセンター・アクト・アクト・アクト共同事業体  
練馬区立リサイクルセンターホームページ[https://www.nerima-rc.jp/]



## 子どもの成長を願う



## 未来を担う子どもは「社会の宝」 地域と連携し、一丸となって見守っていく

子どもは、親だけでなく社会全体にとっても未来を担う大切な存在であり、健やかな成長は社会全体の責任と願います。リサイクルセンターは、子育てしやすい環境をつくることで、少子化問題の解決や社会の持続的発展にもつながっていきたく考えています。地域と連携し、子どもの成長を見守っていく取り組みを推進。施設内での講座にとどまらず、施設を飛び出しての活動も積極的に展開しています。その一部をご紹介します。



**施設見学** 小学校と連携。美化委員の児童がリサイクルセンターの事業を学習。



**街探検** 小学校と連携。2年生を対象に地域のお店や公共施設の役割を学習。



**出前講座** 児童館と連携。1～3年生の学童児童を対象に定期的にリユース工作の講座を実施。



**出前講座** 小学校と連携。道徳の総合的な学習の一環で、4年生を対象に「3R教室」を実施。



**職場体験** 中学校と連携。毎年2年生を対象にプッチャン形式の職場体験を実施。

## 「桃の節句」はひな人形、「端午の節句」は五月人形 子どもの成長を願い、小さな人形に思いを託す

日本には、子どもの成長を願う伝統行事が多くあります。昔ながらの風習が失われつつある現代ですが、女の子の成長を祝う3月3日の「桃の節句」にはひな人形を、男の子の成長を祝う5月5日の「端午の節句」には金太郎を模した五月人形や兜を飾るご家庭は多いのではないのでしょうか。

昔はその思いを表すために、七段飾りのひな人形を飾ったり、大きなこいのぼりを庭に立てたりしたもの。住宅事情もあり、最近はリビングに飾ることができないミニサイズの人形が主流ですが、時代は移っても子どもの健やかな成長と厄払い、健康を願う気持ちには変わりはありません。そんな思いを反映して、練馬区立リサイクルセンターで開催するひな人形や五月人形を手作りする講座は不動の人気を誇っています。参加者の皆さまは、この小さな人形にお子さんやお孫さんの健やかな成長を願いながら手を動かします。



## 少子化が叫ばれる時代だからこそ 地域の皆さまに伝統行事の大切さを伝えたい

リサイクルセンターでは毎年「桃の節句」や「端午の節句」に合わせて、施設内外をデコレーション。表紙の写真のように、ボランティア講師が提供してくれた由緒あるひな人形を飾ったり、地域の皆さまが寄贈してくださったこいのぼりを展示したり…。この展示を楽しみに来館される方も多く、地域の風物詩にもなっています。少子化が叫ばれているからこそ、昔ながらの伝統行事を地域の皆さまにお伝えしていくのもリサイクルセンターの務めです。

今年の「桃の節句」「端午の節句」にはぜひ人形作りに挑戦しませんか。リサイクルセンターは、2026年も子どもたちの成長を願って、さまざまな講座を展開していきます。



## 「桃の節句」のひな人形 & 「端午の節句」の五月人形 手作り講座カレンダー

2026年新春、各リサイクルセンターで開催予定の「桃の節句」のひな人形と「端午の節句」の五月人形の手作り講座をご案内します。初節句を祝うプレゼントにもおすすめです。 ※講座の詳細は裏面をご覧ください。

2月  
February



豊玉 2月6日(金) 13:00～16:00



春日町 2月10日(火) 10:00～15:00

### 余り布で作る小さなおひな様

ご家庭にあるハンカチや端切れなどの余り布で、古典的な風情が漂うおひな様を作ります。置く場所を選ばないコンパクトサイズ。毎年改善を重ね、手作りの楽しさを提供します。



春日町 2月15日(日) 10:00～11:30

### 子ども まんまるおひな様を作ろう

卵の殻をおひな様の顔に使用し、自分で表情を描きます。着物はさまざまな色の端切れを重ねることで、オリジナリティを発揮。家にある身近な材料でできる楽しさを伝えています。



関町 2月17日(火) 10:00～12:00

### 和布の小さなおひな様

絹などの美しい柄の和布の端切れを無駄なく活用できます。着物部分はきんちゃく状に。複雑な工程が少ないので、裁縫が苦手な方、初心者の方でも取り組みやすい講座です。



春日町 2月15日(日) 10:00～11:30

### 和布の小さなおひな様

絹などの美しい柄の和布の端切れを無駄なく活用できます。着物部分はきんちゃく状に。複雑な工程が少ないので、裁縫が苦手な方、初心者の方でも取り組みやすい講座です。

3月  
March



関町 3月28日(土) 10:00～12:00

### 子ども 端材等で「五月人形の置き物作り」

高価な材料は必要なし！端材と端切れに子どもたちが命を吹き込みます。子どもの「今」を記録した世界にひとつだけの作品となります。端午の節句について学ぶ時間も設けました。

大泉 既に募集は終了。次回の開催をお楽しみに！

### はまぐりのおひな様



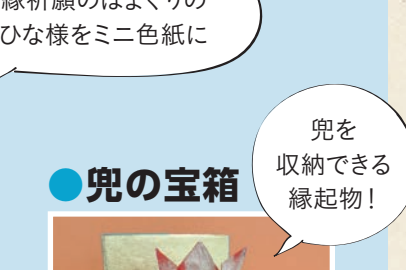
春日町 2月15日(日) 10:00～11:30

### こいのぼりの顔絵



春日町 2月15日(日) 10:00～11:30

### 兜の宝箱



春日町 2月15日(日) 10:00～11:30



## 2月は「省エネ月間」！

毎年2月は「省エネルギー月間」。暖房や給湯の需要が高まるこの時期に、省エネの重要性を再認識するため、1977年に始まった国民運動です。

発端は1970年代のオイルショック。そこから半世紀、私たちの省エネは「資源確保」から「地球温暖化対策」へと変化しています。日本はエネルギーの多くを化石燃料に依存しています。無理のない範囲で省エネを心がけましょう。

## 家電の省エネ性能を チェック！

近年では、家電の省エネ性能が向上しています。デコ活（環境省）のHPによると、10年前の製品と新製品を比較した場合、冷蔵庫で約28～35%、エアコンで約15%も電気代の削減が期待できるそうです。その他の家電も、省エネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさん」で確認することができます。

家電製品を賢く使うとともに、購入時には年間の消費電力や電気代、二酸化炭素排出量などを考えて最適な機種を選び、地球にやさしい生活にシフトしましょう。



### 省エネ製品買換ナビゲーション「しんきゅうさん」はこちら

(出典：デコ活HP)



## 令和8年度「こどもクラブ」メンバー募集！ 環境の学びは未来の地球を知ること。好奇心旺盛な小学生集まれ！

スローガンは「楽しく遊んでエコロジー！」。練馬区立リサイクルセンターでは、小学生を対象とした自然やエコについて学ぶ、大人気企画！令和8年度「こどもクラブ」メンバーを募集します。月1回土曜日の午前中に、ボランティア講師が中心となって、工作や観察、実験など、オリジナルのプログラムを展開。さまざまな遊びを通して、環境に興味を持つきっかけを提供する活動です。こどもたちの好奇心を刺激する「こどもクラブ」に奮ってご応募ください。

※写真は過去の活動から掲載しています。



トマトの収穫体験



紙すき



街探検と清掃活動



こぐれ森探検



目指せデジコン博士



自然素材工作



木島大雅先生と生態系の不思議について



玉ねぎ染め

募集期間 3月1日～26日

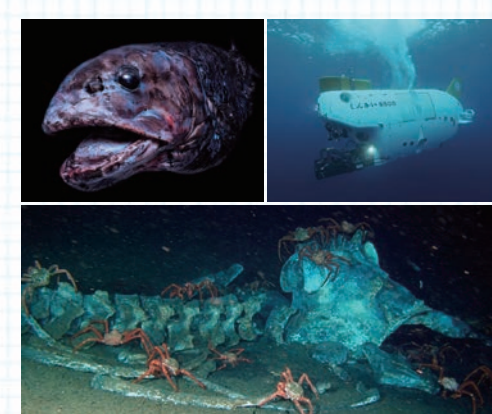
**資格** 小学生(新1年生からOK)  
**参加費** 無料  
**期間** 令和8年4月～令和9年3月  
**活動日時** 月1回(原則第3土曜日)  
※8月はお休み  
10:00～12:00  
**定員** 関町・春日町・豊玉・大泉の各リサイクルセンターで20名ずつ  
**申込方法** 応募者多数の場合は抽選となります。

●往復はがきの場合(3月26日必着)  
①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④年齢(新学年) ⑤学校名 ⑥保護者名(ふりがな)をご記入のうえ、ご希望のリサイクルセンター(宛先は裏面をご参照ください)まで。  
●ホームページの場合  
[https://www.nerima-rc.jp/]よりご応募ください。HPにアクセス！



## 練馬区立リサイクルセンター4館合同企画講演会のお知らせ 鯨骨・ヨコヅナ・深海洞窟～深海生物研究の最前線

深海は暗く、冷たく、そして強い水圧に包まれた特別な世界ですが、実は多くの生きものたちが長い進化の過程で工夫をこらし、この極限の環境に事実に適応して暮らしています。令和7年度講演会では、海の底に沈んだクジラの骨を拠点に、さまざまな生物が集まって形づくられる「鯨骨生物群集」、水深2,000mに君臨する巨大魚「ヨコヅナイワシ」、そして謎に満ちた地球最後のフロンティア「深海洞窟」に関する情報や、人間活動が深海生態系に与える影響についてもあわせて紹介します。



©JAMSTEC

### 参加費無料

3月15日(日)  
14:00～16:00  
(開場:13:30)

練馬区立生涯学習センターホール  
練馬区豊玉北6-8-1  
アクセスはこちら



**講師**  
藤原 義弘さん  
国立研究開発法人  
海洋研究開発機構 (JAMSTEC)  
地球環境部門 首席研究員  
東京海洋大学大学院 客員教授  
一般社団法人トワイライトオーシャン  
研究機構 理事(理学)

## 申込方法

会場受講 ▶ 定員200名 (HP/往復はがき:先着順)

①催し名 ②参加者全員の氏名(ふりがな) ③住所 ④年齢 ⑤電話番号 をお知らせください。  
●HPの場合 練馬区立リサイクルセンター  
お申し込みはこちら



●往復はがきの場合  
〒178-0061 練馬区大泉学園町1-34-10  
練馬区立大泉リサイクルセンター

オンライン受講 ▶ 定員200名 (HP:先着順)

練馬区立リサイクルセンター HP(上記QRコード)で詳細を確認のうえ申し込みください。

## 申込受付期間

1月22日(木)～2月28日(土)

※往復はがきの場合は、2月28日(土)消印有効。  
※手話通訳を希望する方は、2月15日(日)までにお知らせください。

お問い合わせ ▶ 大泉リサイクルセンター ☎03-3978-4030

## ●前回の講演会ダイジェスト●

## 「はやぶさ2」のことを知ると地球を大切に 思うようになる～太陽系の成り立ちと地球の現在～

藤本 正樹さん  
JAXA宇宙科学研究所 所長、教授、東京大学大学院 教授



宇宙開発における環境問題も深刻です。現在、人類が主に活用する宇宙空間は、地球周辺の低軌道です。そこに打ち上げられた人工衛星が寿命を迎えるかどうか、長期にわたって地球を周回し続ける。つまり、低軌道宇宙空間は次第に混み合うことに。寿命を終えた衛星は粗大ごみであるとともに、稼働中の人工衛星への衝突事故リスクが増えるというわけです。このため、寿命を終える前に軌道から落とす運用が求められています。

火星探査の最大の興味は、火星に生命がいるのか?です。その結論の前に、探査機が地球微生物を持ち込んで元も子もないので、十分な注意が払われています。究極のごみ輸出禁止ルールです。



